

家賃債務保証のジェイリース

「フォーブスアジア」のベスト200社に選出

家賃債務保証事業を展開しているジェイリース（東京都新宿区）は今年8月、アメリカの経済誌「Forbes」のアジア版「Forbes Asia」が毎年行っている「Forbes 200 Best Under A Billion」の2025年版に選出された。同社が選出されるのは、昨年に続き2年連続となる。

ジェイリースは2017年から、事業用の家賃保証プラン「J-AKINAI（ジェイアキナイ）」を展開。オフィス・店舗をはじめ、倉庫、工場、貸地などの用途に幅広く対応。保証限度額は月額総賃料の24カ月分。これは共益費や管理費、変動費（水道光熱費）、原状回復工事費、解約予告通知義務の違約金、明渡し訴訟費用、賃貸借更新費および更

新事務手数料なども限度額の範囲内であれば無制限に保証できる。手厚い保証内容と、東証プライム上場といった財政状況による安心・安全なども強みに、不動産オーナーから好まれている。選出された「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion」は、年間売上高10億ドル未満のアジア・太平洋地域の

上場企業2万社超の中から、売上高・利益・成長率などの「定量的指標」と、経営品質や革新性といった「定性的評価」で審査され、これらの結果を踏まえたうえで、毎年優れた企業200社を選出している。今年はジェイリースを含む、日本企業25社が選出された。26年版にも選出を目指し、引き続き定量的指標と定性的評価の両面を高めていく。